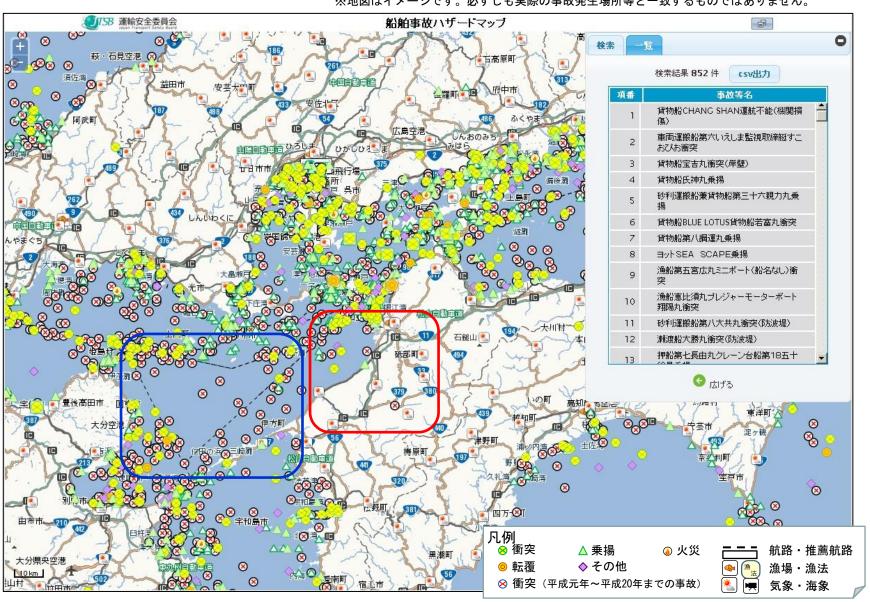
## 船舶事故ハザードマップ (イメージ)



#### 船舶事故ハザードマップ(イメージ)

※地図はイメージです。必ずしも実際の事故発生場所等と一致するものではありません。



# 【参考】

平成25年3月15日開催 運輸安全委員会業務改善有識者会議 (第4回)資料





# 船舶事故ハザードマップについて(現状)

## 現状

- ・公表してきた報告書の<u>教訓等</u>を身近に発生している事故から<u>操船者や運航事業者等へ伝えることが</u> できているか
- ・事故等の発生場所が分かりにくいため、傾向を見ることができないのではないか
- ・現在のホームページは使いにくいとの意見もあり、<u>事故検索だけではなかなか知りたい事故にたど</u> りつけないのではないか
- ・事故等調査のほか、地域特性に応じた<u>地方版分析集</u>を作成しているが、その存在を知らないとの意見もあり、その成果を<u>効果的かつ簡単に発信する方法はないか</u>
- ・<u>各種船舶の操船者</u>(外航、内航、漁業関係者)は海域ごと等の運航航路、漁場、漁法について、<u>情</u> 報を共有していないのではないか
- ・発足後4年を経過したことから、データが蓄積されてきたので活用できないか

#### 目的

- ・報告書の検索を容易にし、報告書の活用を促進する
- ・予定航路、操業場所等でのリスクを容易に確認できるようにする
- ・操船・操業時等に注意すべき事項を提示する



船舶事故等の発生場所を地図に重ね合わせビジュアルに見えるよう「船舶事故ハザードマップ」をインターネットサービスとして提供する。

※提供するには実際に利用するユーザーの意見を反映することが必要であることからどのようなニーズがあるのか確認 するため、関係団体と意見交換を行うこととした。



## 船舶事故ハザードマップについて(意見交換)

#### 意見交換団体

実際に利用する約50団体と意見交換を行った。

〇海事関係団体 ・・・・ 25

(外航、内航、旅客、漁船、漁業、プレジャーボートの各団体)

○運航事業者 ・・・・・ 16

(外航、内航、旅客等)

○教育・研究機関・・・・ 4

(大学、研究所、船員養成機関)

Oマリーナ · · · · · · 2

(プレジャーボートマリーナ管理会社)

○行政機関 ・・・・・ 7

(国土交通省、気象庁、海上保安庁、水産庁)

#### 主な意見・要望(一例)

- ・良い試みであるため是非作成して欲しい
- ・事故発生場所をビジュアルで確認できることが良い
- ・事故が多発している地点を確認できたら良い
- ・交通量、漁業図、漁業区画等の情報を色々な船舶で共有できるようにして欲しい
- <u>・気象・海象に関する情報を充実して欲しい</u>
- ・地図でだけで表現できない事故を紹介して欲しい
  - 例)船内労働災害に関する情報、機関の取扱いに関する情報
- ・ 英語版のページも作成して欲しい
- ・スマートフォン、タブレットで気軽に閲覧したい
- ・船員の教育・安全講習等に利用したい
- 各都道府県の漁業指導担当者及び漁業協同組合の安全講習、会議等で連携することとしたい。



# 船舶事故ハザードマップについて(今後の課題)

## 主な利用対象者

内航、旅客、漁業、マリーナ、プレジャーボートの各関係者

# 公開 (予定)

4月~6月

## 今後の課題

機能強化	・ハザード情報の追加(船内の労働災害、機関の取扱いに関する情報等) ・英語版ページの作成 ・スマートフォン、タブレット端末への対応
利用促進	<ul> <li>・海事関係団体・事業者等への積極的な周知 「海の月間」における各海事関連のイベントや各団体による安全講習会等への積極的な参加や機関紙・広報パンフレット等への掲載</li> <li>・関係行政機関との情報共有や業界団等の実際に利用する者との意見交換・個々のユーザー(漁船、プレジャーボート)における使用方法やこれら者に対する有効な使用・周知方法についての検討 ※海事関係者との意見交換により得られた気づき、ニーズ等を踏まえ、本システムのさらなる改善に活かす。</li> </ul>

- ※船舶事故ハザードマップは、東京、地方事務所が一体となって充実させていく。
- ※交通量等のデータ作成は、(独)海上技術安全研究所において作成。



## 船舶事故ハザードマップ(イメージ)

検索項目を設定し検索すると事故発生場所が地図上に表示される。 さらに、AISから交通量、分析情報、気象情報を一緒に表示できる。

※下の地図はイメージであり、必ずしも実際の事故発生場所等と一致するものではない。



関係者からのご意見や新聞報道においても、漁場や航路の情報共有の必要性が指摘されている。気象情報、漁業図、漁業 区画等の様々な情報を船舶事故ハザードマップで表示することは、有益な情報共有の場を提供するものとなる。



## 地図で表すことのできないハザード情報と情報共有

地図に表すことのできない、船内労働災害に関する事故、機関の取扱い関する事故について検索 するページを作成し、地図で表すことのできない事故についても充実することとした。

船内労働災害事故に関係するハザード情報イメージ



機関の取扱いに関するハザード情報イメージ

